

再審開始決定の袴田さん ドキュメンタリー映画公開



映画「袴田巖 夢の間の世の中」の一場面

の間の世の中」が公開されている。

映画は、袴田さんと、無実を訴え続けてきた姉秀子さんの2人暮らしを淡々と追う。部屋の中をウロウロ歩き回る姿や脈絡のない会話など、拘置所生活による拘禁症状とみられる袴田さんの言動も、そのまま撮った。一方、当たり前の日常を送る中で、その表情は徐々に穏やかになっていく。

公開前に東京都内で開かれた完成試写会には金聖雄監督と秀子さんがあいさつに立った。金監督は「釈放当初の巖さんは本当に表情がなく、どうなるかと思ったが、時間とともに変わっていき、再生していく姿を映画に定着できたと思う」。秀子さんは「ありのままの巖をしっかりと捉えてくれた。良い映画です」と満足そうに話した。

釈放後の日常追う

一家4人殺害事件で死刑確定後、再審開始決定で48年ぶりに釈放された袴田巖さんの日常を、約1年半にわたって記録したドキュメンタリー映画「袴田巖 夢

映画の完成試写会で舞台あいさつをする金聖雄監督（右）と袴田秀子さん＝東京・日比谷



ユーモアを含んだ優しいタッチの映画と同様、会場は笑いが絶えない雰囲気。金監督は「完成した映画を袴田さんに見てもらい、恐る恐る感想を聞いたら『俺はあんなにヨボヨボじゃない』と。笑いながら文句を言う感じで、どこかうれしそうでした」と報告。秀子さんも「照れくさかったのかな」と笑顔だった。

問い合わせはキム・ノンフィルム（042-316-5567）。